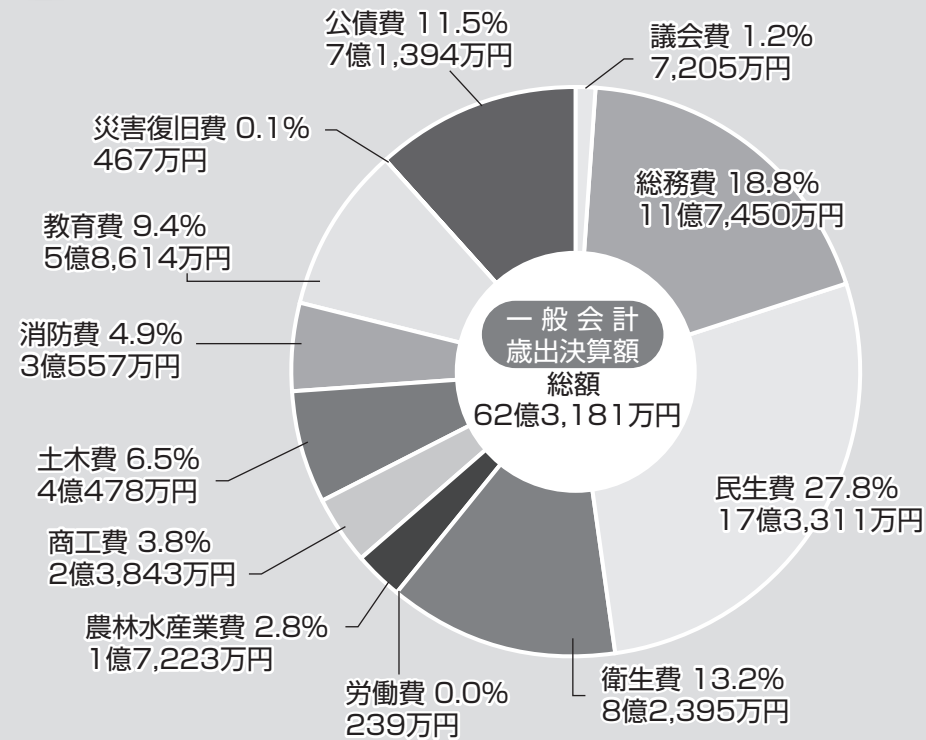


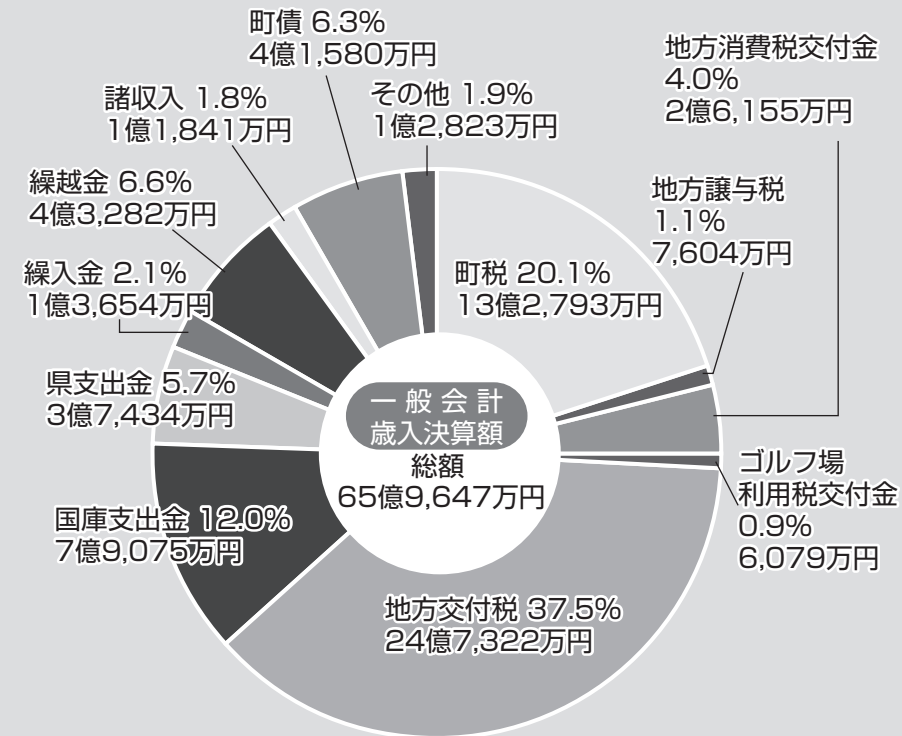
令和5年度
決算認定

どう活かされた



※表示単位未満を切り捨てているため、合計が総額と一致しません。

私たちのお金



令和6年
第3回定例会
9月3日～9月18日

令和5年度 各会計歳入歳出決算認定等を特別委員会へ付託

9月定例会では、令和5年度決算等に係る報告5件と認定6件、その他条例の一部改正など町長提出議案10件、諮問2件を審議し、すべて原案のとおり認定、可決承認されました。

なお、一般質問には10名が登壇し、活発な議論が展開されました。

特別委員会とは、議会の議決によって付託された議案等の審査を行う委員会です。

決算特別委員会は、決算が議会に提出される9月定例会において上程された決算議案について、その認定審査のために設置される委員会です。

委員会は、議長、議会選出監査委員を除く9名で構成され、委員長に山中博子議員、副委員長に小島利枝議員が選出され審査を行いました。

総括質疑

小島利枝議員

必要事業には重点的に予算配分し、充実を図る

とした結果、前進した点、またどのように評価しているか。

様々な施策の最終目標は、魅力あるまちとして磨き上げ、人口増加の町とすることと考える。令和5年度は、人口全体では151人減であるが、社会増減は33人増となった。「住みたい、住み続けたい魅力あるまち」として一歩前進している」と評価している。

山中博子議員

総務費総務管理費の不用額について。

職員自己啓発研修に対する補助として予算計上したが希望者がいなかったため決算額が0円となった。集落支援員の委託料につ

いては毎年度減額補正を行っており、不用額ではない。今後の集落支援員の対応は、来年度以降も地域おこし協力隊員と連携した空き家掘り起こしを継続するとともに様々な相談に対応する。予算については活動量を踏まえた予算措置をしていく。

岩田鑑郎議員

人口減少対策で特筆すべき有効な対策は何であったか。

人口減少対策には大規模な住宅団地整備でもしない限り特効薬の様な対策はないが、あえて言うなら、地域おこし協力隊を1名増員し、こまめな親身な対応をしている。

人口減少対策の第一歩は、一人でも多くの人にときがわ町に住みたい、住み続けたいと思って頂くことであると思うので、町の魅力向上に努める。

野原和夫議員

一般会計において、不用額が1億6,821万円となっている。総務費、民生費及び教育費の執行科目

単位で100万円以上の不用額が生じていることについて説明を求める。

不用額が生じる原因としては、予算の過剰計上、計画変更及び業務の効率化などが考えられる。

不用額をゼロにすることが重要ではなく、適切な予算管理を行い、必要な支出が確実に行われるようにすることが重要と考える。

歳入の主な質疑

収入未済額について、今後、徴収をどのように考えているのか。

令和5年度分は9月末を目途に重点的に徴収。10月以降は、令和6年度分と合わせて徴収対策を実施。

個人町民税及び固定資産税収納額が減額の主な原因は。

個人町民税については納税義務者の81人減に伴う約250万円の減少。固定資産税については、償却資産新規取得の低減及び企業の撤退による減少。